

はじめに

2020 年度筑波大学大学院図書館情報メディア研究科図書館情報メディア専攻博士前期課程修了者の修士学位論文抄録集を刊行いたします。本研究科の定める学位論文（修士）の審査基準では、研究テーマの意義、先行研究の把握と理解、研究方法の妥当性、結論とそれに至る論理の妥当性、体裁・構成の適切さ、文献・資料の適切な引用のすべてが妥当もしくは達成されたと認められる学位申請論文を、最終試験を経た上で、修士論文として合格とするとしております。そのような審査を経て合格と認められた修士論文の抄録集には研究科の多様で先端的な研究の成果が集結しております。論文完成に至るまでの大学院生各位の努力を讃えるとともに、指導教員、副指導教員や査読者を始めとする論文作成に関わられた教員各位および学生の研究活動を支えられた支援室の職員の方々に感謝申し上げます。

図書館情報メディア研究科は、「情報メディアによる社会の知識共有とその仕組みに係る研究を発展させ、新しい時代に向かって社会をリードする人材を養成」することを使命としてかけ、社会における知識・情報の共有や、その仕組みとしての図書館や情報ネットワークを対象にした、人文学、社会科学、理工学等の多様なアプローチからの総合的・複合的な教育研究を行っております。そのような多面性を実現し、かつ大学院教育の実質化を推進するという観点から、本研究科博士前期課程では、修士（図書館情報学）と修士（情報学）の2つの学位に対応した教育プログラム、および修士（図書館情報学）に対応した社会人向けの図書館情報学キャリアアッププログラム（CUP）と留学生向けの図書館情報学英語プログラム（EP）を提供しております。今年度は、こうした教育課程で学んだ大学院生 44 名（うち修士（図書館情報学）16 名（CUP5 名及び EP3 名を含む）、修士（情報学）28 名）が修士の学位を取得しました。

博士前期課程の修了生は、公的機関や企業等で図書館情報メディアに係る専門家として実務に携わるもの、将来この領域の先駆的な研究者になるべく博士後期課程に進学するものなどさまざまです。どのような職であれ、修了者各位が本研究科で学んだことや修士論文を完成させるまでの研究生活の中で得た知見を活かし、知識情報社会のフロンティアとして今後活躍されることを、教職員一同、心より期待いたします。

2021 年 3 月

図書館情報メディア研究科長 佐藤 哲司

目 次

《 修士（図書館情報学） 》

大 野 優 花	グライスの会話の理論による別役実のコント作品分析—ディスコミュニケーションに着目して—	1
久 保 田 泉	地域包括ケアシステムにおける高齢者の社会参加活動—高齢者ケアとしての紙芝居に着目して—	2
佐 藤 い つ み	Linked Open Data を用いた年中行事・祭礼情報の構造化とその利活用に関する研究	3
下 野 幹 弥	電子書籍の価格と需要の関係に関する国際比較	4
西 山 絵 里 子	施政権転換時における公文書の移管実態—沖縄返還時の琉球政府の行政文書を中心に—	5
藤 順 一	Twitter における情報共有行動分析と誤情報拡散抑制策の提案	6
渡 邊 結 希	デジタル教科書の機能比較	7
安 竟 毓	中国における地震災害档案の基礎的研究—収集方針を中心に—	8
張 九 沛	Participatory Digital Archives and Issues Relating to Their Contextualization: A Dialogue with the Archival Discourse	9
潘 瑜	ジャニーズファンのインフォーマル学習への意識とその学習成果の表れ—ジャニーズファンのファンコミュニティに着目して—	10
沖 田 綾 子	高等学校図書館における電子書籍貸出サービスの現状と課題	11
駱 泓	新海作品の若者の受容に関する日中比較—映画『君の名は。』を中心に—	12
M U H A M M A D H A S E E B U R R E H M A N K H A N	A Study on Time Series Topic Popularity Extraction Methods with Topic Modeling	13

Izhar Almizan W a h o n o	An Initial Study of Learning Methods to Improve the Quality of Student-Generated Questions	14
YUAN, ZIJIE	A Study of Notification Media for Physical Interaction in Telepresence Robot Environment	15
山 本 直 樹	パソコン要約筆記全体投影の伝わり方に関する研究	16

《 修士（情報学） 》

赤 澤	豪 樹	Shape Expression Schema のスキーマ進化に対する Property Path 式 修正アルゴリズム	17
稲 垣	遼	Adversarial Learning-to-Rank Based on Variational Divergence Minimization	18
大 中	悠 生	模擬難聴システムを用いた実環境音下におけるサイン音認知に関する 研究	19
小 川	航 平	A Study on Embodied Expressions in Remote Teleconference	20
小 島	直	オーボエの音色の個人性に関する研究	21
小 林	滉 河	固有表現抽出における機械学習モデルの効率的な教示方法に関する 研究	22
齋 藤	秀	小惑星探査ローバ群の相対距離推定における計算手法の提案	23
周 東	拓 哉	深層生成モデルを用いた顔分布の獲得と顔サンプルの生成	24
鈴 木	一 平	High-Speed Projection Method to Prevent Secret Photography with Small Cameras	25
鈴 木	亮 祐	The Effect of Spatio-Temporal Resolution and Camera Work on the Dance Appreciation Experience	26
田 代	祐 美 伽	視覚的なパラメータ設定に基づく安定した炎のシミュレーション	27
谷 口	正 樹	Saliency-based Trimap Generation for Image Matting	28
長 津	舜	統計量に基づくリアルタイム流体音シミュレーションの改良	29
滑 川	静 海	相互情報量を利用した Neural Architecture Search 手法の提案	30

松 岡	栞	Shape Expression Schema の下でのパターン問合せ充足可能性判定アルゴリズム	31
松 本	悠 路	分散表現学習を用いた和声スタイルの分析と変換	32
村 本	尚 生	Rank-sensitive Deep Metric Learning	33
本 川	哲 哉	深層ニューラルネットワークの適応的最適化手法における汎化性・頑健性の分析	34
山 本	健 太	Interactive Eye Aberration Correction for Holographic Near-Eye Display	35
山 本	雄 也	歌唱テクニックの自動検出に向けた技術基盤の構築	36
呉	宜 暄	Study on Effect of Semantic Content Generalization to Pointer Generator Network in Text Summarization	37
戴	鑫 偉	Utility Study of a Video as a Daily Report in Teleworking	38
楊	瀚	対人依存と SNS 利用状況が友人関係に与える影響：北京の高校生を例として	39
C H E N	Y I	Position Based Snow Simulation with Phase Change	40
前 野	翔 平	Automatic Generation of Research Objectives and Citation Sentences in Academic Papers	41
村 松	直 哉	SNN Meets ANN: Combining Spiking Neural Network (SNN) and Artificial Neural Network (ANN) for Image Classification	42
原 田	倫 行	非同期型多人数動画メッセージングシステムの一検討	43
大 桃	耕 太 郎	A study towards multilingual singable song	44